

重点施策点検・評価表

3-1-1

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める	担当課（館）	
	① 達人講座の実施	生涯学習課	
	活動内容	地域のサークル等の講師（達人）が、小中学生（親子含む）を対象にボランティアで講座を開設し、昨年度と同じく22講座を実施する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 今年度新たに3講座（木のイス作り、秋田杉ペンスタンド作り、木のマグネット・カスタネット作り）を開設したが、新型コロナウイルス感染症の影響で後期のみの開催となった。後期の講座数は4講座増の13講座を実施し、申込者数は154%増の174人であった。 ≪後期≫令和元年度 9講座開設（うち、申込み無し1件）申込者数113人 令和2年度 13講座開設（うち、申込み無し0件）申込者数287人	
	課題等	新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの実施方法について講師と相談しつつ、講師や参加者が安心して参加できる講座を計画していきたい。 また、新たなメニューを取り入れ、チラシのデザインをわかりやすく改善することで参加者数の増加につなげたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、交流を主体とした講座を行うことは非常に悩ましい部分がある。そのような中で、申込が174%も増加したことはすごいことである。ニーズに合ったものを選択して行っており、非常に良い活動である。	
	② 人材リスト「おおだて人財名簿」の充実と活用	生涯学習課	
	活動内容	高等教育機関（大学、短大）や学校ボランティア、公民館等から新規人材を発掘し、特技や知識を持つ市民を「人財」として募集・登録し、学校や公民館などさまざまな学習活動の場での活用を促す環境の整備を図る。市内各所（小中学校25校、社会教育施設等18か所）に配置し、市ホームページも更新する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 新規人財登録、活用申込みともなかった。 令和2年度 登録50人 17団体 小中学校25校は、紙名簿を廃止し、市ホームページ、庁内ネットワークのライブラリー活用とした。	
	課題等	より広い周知をして登録件数増加や利活用の促進を図っていききたい。名簿の内容は、随時チェックしながら更新し、使いやすさを維持していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	人財名簿があることと使うことには距離感があると思うが、名簿の存在をわかってもらうことが大事で、今後も引き出しを開けた工夫（名簿があることの情報発信）をしていくと、活用につながっていくことになるので継続していただきたい。		

重点施策点検・評価表

3-1-2

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める
	担当課（館）
	③ 「大館市出前講座」の充実と活用
	生涯学習課
活動内容	市民の自主的な学習活動を支援するため、市の制度や事業等について市職員が出向いて説明を行う「出前講座（66講座）」を実施し、利用件数230件、受講者数14,000人（延べ）を目指す。 平成30年度53講座 令和元年度58講座（実績：238件、14,779人） 令和2年度66講座（実績：126件、7,717人）
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 講座数は8講座増の66講座を実施することができた。新型コロナウイルス感染症の影響により受付開始が1カ月程遅れ6月10日（水）となったこと、小学校の運動会規模縮小によるはちくんダンスやあいさつ運動への出前講座申込みなど、市民活動が全体的に自粛傾向であったことから、結果としては126件7,715人が受講に留まり、昨年度より件数、利用者ともに大幅減となった。救急講座や防災に加え、糖尿病、フレイル予防や血圧など健康志向に関する申込みが多かった。
課題等	救急や防災講座、健康など、生活に密着したテーマの希望が多いことから、一層の周知をしていきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	健康や防災などに人気があるのは、いざという時のための講座が必要とされていることの現れだと推察できる。今後も外せないもの、ニーズに合わせたものを考えて取り組んでほしい。
	④ 公民館事業への青少年の参加促進
	中央公民館
活動内容	各公民館が、小・中・高校生を対象とした事業を学校休業日を利用して開催し、参加を促進する。既存の事業がマンネリにならないよう改善を加え、新規事業も企画・立案し、新規参加者が年々増えていくよう配慮する。今年度実績：わんぱくスクール延べ3回49人（前年度9回登録者24人）、ラジオ体操開始大会中止（同17団体150人）、夏休み将棋教室49人（同60人）、夏休み囲碁教室13人（同10人）、ラジオ体操終了大会10団体90人（同10団体80人）
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 年度当初、コロナ禍により各事業が中止や大幅な規模縮小となったものの、感染対策などを講じて、夏休みには小中学生を対象とした事業を再開した。休日や夏休みを実施した「わんぱくスクール」や「キッズカレッジ」、「たしろ学舎」などの事業では、複数館の合同学習も行なった。単発では「将棋・囲碁教室」、「新春書初め」などのほか、地区公民館では「星空観望会」、「サケの放流事業」、「カヌー体験教室」など特色ある事業に取り組んだが「夏・冬まつり」などは中止せざるを得なかった。
課題等	新型コロナウイルス感染症の収束のめどが立たないため、今後も計画に影響が出ると思われるが、青少年の参加を高めるために小中学生が興味を持つようなイベントや活動を企画する努力を継続する。 新たなメニューを取り入れたり、対象者の枠を拡げるなどの検討をしながら、参加者が増加するように配慮したい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	コロナ禍による影響はいたしかたない。その中で事業を進めることにより新たな発見もあったのではないかとと思うので、引き続き、工夫をしながら青少年の事業への参加促進を図ってほしい。また、公民館が子どもにとって身近な存在であってほしい。事業参加だけでなく、子どもが気軽に立ち寄れる学校以外の集える場として公民館づくりを目指してほしい。

重点施策点検・評価表

3-2-1

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課（館）
	① 学校支援活動事業の推進
	生涯学習課
活動内容	市内の全小中学校を対象として、学校で必要とする活動と地域住民の知識と経験をマッチングさせ、地域の方々のボランティア派遣や地域の教育力を学校教育へ活用するなど、地域ぐるみで子どもを育む環境整備を図るとともに、学校を核とした地域の活性化につながる活動を支援する。今年度事業計画の地域協力者数を延べ17,791人とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を配置し、地域と学校の連携・協働を図る。今年度の地域協力者数は12,733人（感染防止対策による人数制限等のため減）。①各校の特色ある授業・大館ふるさとキャリア教育「百花繚乱作戦」の支援、家庭科等の授業や学校行事における地域協力者をコーディネートする。②児童・生徒による地域貢献活動として地域と学校の連携を図る。③学校ホームページや学校報等により、児童・生徒や地域協力者の活動状況を伝えることで地域協力者の意欲向上や新たな人材確保に繋げる。
課題等	大館市教育委員会が委嘱している地域学校協働活動推進員の能力向上・連携を図り、地域力による学校教育と学校を核とした地域貢献活動の充実に努めたい。国が進める「コミュニティースクール」の導入にあたっては、本事業と密接に関わることから、学校の負担増を招かないための方策を検討していく。
学識経験者等の意見	コミュニティースクールの導入にあたっては市独自の形態を模索しつつ、良い方向性を見出して進めていってほしい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 家庭教育の充実
	生涯学習課
活動内容	家庭教育推進事業の一環として、市内幼稚園・保育園・小中学校を対象に「子育て講座（40講座）」を開催する。また、「おしゃべり広場ひだまり（12回）」は子育てサポーターと連携し、子育て中の親を対象に育児の悩みや不安の解消を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） ○「おしゃべりひろばひだまり」 新型コロナウイルス感染症の影響により開始時期が遅延した。10回開催、参加者は前年度に比べ約55%減の130名となった。 ○「子育て講座」 今年度は学校、放課後児童クラブ等周知する団体を増やした結果、40団体で開催（前年度比1団体増）参加者数は約14%減で計1,682名であった。 ○「親育ち！家庭教育支援ネットワークづくり事業」 適応指導「おひとり教室」ふれあいお楽しみ会（木育講座）（参加者23名、ボランティア8名） 助産院イスキア菅原光子先生による孫育て講座（3回実施、参加者計52名） その他「担当者スキルアップ研修会」、特別支援学級でのそば打ち等体験を実施。 ○今年度の新たな取り組み 「Let's Go! 木育ひろば」・・・10回実施、参加者計771名 「プレパパセミナー」・・・参加者18名
課題等	「おしゃべりひろばひだまり」は、SNSの活用やチラシ配布場所の見直しにより市民に広く周知して参加者増につなげたい。また、ポスターやイベント内容を検討し、誰でも気軽に参加しやすいイベントをめざしたい。今年度新たに実施した「Let'sGo! 木育ひろば」は好評だったが、参加者の意見を取り入れながら内容を改善していきたい。
学識経験者等の意見	特に大事にしてほしい事業である。大館の将来を担う子どもとその親を支える活動であるので、生涯学習事業として花開いて拡大していってほしい。出生数が年約300人と減少する中で、各家庭が孤立していかないようにサポートしてもらいたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-2

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課（館）
	生涯学習課
	③ 音楽療法士派遣事業
活動内容	継続事業として、市内幼稚園・保育園・小中学校からの派遣依頼を受け、自閉症気味な子や発達が気になる子、特別支援学級在籍児童生徒に対し音楽療法を実施し、情緒の安定を図る。 事業計画で年間24回の開催を予定。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 派遣要請のあった市内の小中学校の特別支援学級や低学年、気になる子がいる保育園児を対象に全24回の派遣を実施した。（小学校18回、中学校2回、保育園4回） 学校の先生と音楽療法士が協力することで、児童生徒が音楽を楽しみながら、集中力やコミュニケーション能力の向上に努めることができた。
課題等	コロナ禍ではあるが、音楽療法士は市内在住であるため、予定どおり派遣し実施することができた。 参加した児童生徒の反応も良く、今後も多くの学校等に音楽療法士を派遣できるよう、事業を継続する。
学識経験者等の意見	全国的に音楽療法による効果は知られるようになってきた。予算との関連もあるが24回が適切かどうかニーズも含め今後検討してほしい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	④ 青少年健全育成活動の充実
	生涯学習課
活動内容	青少年健全育成推進方針を策定し、関係機関と連携を図りながらさまざまな活動を実施し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚と青少年健全育成のための環境整備を図る。 「青少年を非行から守る市民のつどい」への参加者動員目標を50人とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 学校及び青少年関連団体・機関等による青少年問題協議会を7月2日（木）に開催し、青少年健全育成推進方針の策定や情報共有・事業連携を図った。 なお、「青少年を非行から守る市民のつどい」は、当初、感染症対策として参加人数の制限や時間短縮をすることで7月6日（土）に開催予定だったが、国県の動向・方針により最終的には中止を判断し、チラシの配布や広報誌による青少年の非行・犯罪被害の防止、社会を明るくする運動の啓発活動に努めた。
課題等	新型コロナウイルス感染症の感染状況にもよるが、中央公民館会場の参加人数制限に従いながら、7月3日（土）に「青少年を非行から守る市民のつどい」を開催したい。
学識経験者等の意見	人を集めて行う活動は参加数の確保が難しい。大事な活動であるが、主催者としては悩ましいところだが、思い切った改革を行うなどして頑張って継続して行ってほしい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-3

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課（館）
	生涯学習課
	⑤ 少年相談センターの活動の充実
活動内容	青少年が抱える悩みや問題を解決するための相談活動や少年指導員による巡回活動のほか、関係機関・団体・学校等と連携したさまざまな活動を行うことにより、青少年の健全育成を図る。 少年指導員による年間活動数を延べ200人とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 青少年や保護者が抱える様々な問題に対応できるよう、電話や面接による相談活動を実施するとともに、市内小中学校や、おひとり教室・子ども課等の青少年関連機関との連携を図りながら、問題解決に努めている。また、少年指導員28名により、市内全コンビニ店への子どもの見守り依頼や、街頭パトロール、生徒指導主事協議会との合同巡視など、延べ194人の活動を通して青少年の健全育成に努めた。
課題等	相談件数が増加傾向にあり、今年度も年間200件を超える相談件数となったことから、今後も少年相談センター業務を所長と相談専門員による二人体制としたい。
学識経験者等の意見	二人体制であることで相談員の負担が分散されてきていることは良い。相談件数からいろいろな人との係わりで奮闘されているのがわかり必要な機関である。一人ひとりを大事にして相談に臨む姿勢は素晴らしいと思う。ただ、やれるところで頑張るといふ考え方もあるが、健康に留意されて頑張してほしい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	⑥ 関係機関への支援
	生涯学習課
活動内容	青少年育成大館市民会議、大館市子ども会育成連合会、大館地区少年保護育成委員会など、青少年健全育成関係団体に活動費の補助や活動支援を行うことにより、地域の青少年健全育成活動の充実を図る。 市補助金： 青少年育成大館市民会議 160千円 大館市子ども会育成連合会 255千円 大館地区少年保護育成委員会 124千円
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 青少年健全育成活動や社会教育活動に関わる上記団体に対して活動費の補助を行ったほか、青少年育成大館市民会議の総会をはじめ、コロナ禍の中であったが感染予防対策をしながら「青少年育成推進事業2020シンポジウム」の開催など、各活動・事務面において支援している。
課題等	会員の高齢化が進み、これまでと同様の活動が難しくなってきたりしている団体もある。 今後も各団体との連絡・連携を密にし、活動費補助のほか、それぞれの活動及び事務面での行政支援に努める。
学識経験者等の意見	市の予算からお金を出す取り組みは大事である。事業を維持しながら、側面からのバックアップを今後もお願いしたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-4

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課（館）
	生涯学習課
⑦ 社会教育委員の活動の充実	
活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、教育委員会点検・評価に対する必要な意見・提言を行い、社会教育活動の推進を図る。 委員に対し学校訪問や研修会等への参加を呼びかけ、延べ40人以上の参加を目指す。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 北教育事務所主催の学校訪問は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、教育研究所主催による教育委員との合同学校訪問、教職員実践発表会には参加した。学校訪問では女性センターの木育ひろばや放課後等デイサービスばすてるを訪問し、市内の子育て支援状況等を再確認した。東北公民館大会秋田県大会も中止となったが、県社会教育連絡協議会ではその代替として記念誌を発行する運びとなり、所属する第一分科会では越前委員が本市の社会教育委員の活動について寄稿した。また、各種活動からの経験を生かし、社会教育・生涯学習の重点施策や事務事業の点検・評価について協議し、必要な提言を行っている。 令和元年度 訪問等延べ参加人数62人（12回） 令和2年度 訪問等延べ参加人数6人（3回）
課題等	継続するコロナ禍の中、活動に制約を受ける可能性もあるが、訪問先を地区公民館にも広げ、ふるさとキャリア教育や学校と地域のつながりの中に社会教育委員として関わり、市民版ふるさとキャリア教育の推進に向け、見える活動を展開していきたい。また、活動を通して得たものを、第7次市社会教育中期計画の実現に向けて助言していく。
学識経験者等の意見	社会教育委員が委員会の活動として学校訪問をすることは、学校に対してもその活動を知ってもらう機会になり良いと思う。活動内容に公民館への訪問を含めていくと、さらに見える活動となるし、PRしていくことは大事である。活動が認知されると盛況になっていくと思うので頑張っていたきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
⑧ 生涯学習推進体制の充実	
	生涯学習課
活動内容	生涯学習に関する市民の意見・要望を反映させるため、関係相互団体と連携し、生涯学習推進協議会において協議するとともに、地域において学習活動を奨励するため、生涯学習奨励員の自己研鑽と活動の充実を図り、社会教育主事を養成しながらその組織化を目指す。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 生涯学習推進協議会では、7月に幹事会（書面協議）、8月28日に協議会を開催。令和2年度生涯学習推進計画、社会教育推進計画を案件とし、各委員からさまざまな意見等が出された。また、生涯学習奨励員については、地元イベントへの積極的な参加、協力等の個人活動の他、総会及び自主研修会の開催、生涯学習フェスティバルへの参加及び協力、被災地支援・交流事業への参加、県及び北鹿地区の総会、研修会への参加などの活動を行った。
課題等	第7次社会教育中期計画による「大館版リカレント教育プログラムの構築」のポータルサイトの仮稼働を来年度予定している。これは「市民版ふるさとキャリア教育」を具現化する位置づけであるため、庁内連携を進めると共に、今年度の協議会での委員の意見を反映できるようにしていきたい。
学識経験者等の意見	生涯学習推進本部長が市長であるので、新庁舎を利用して生涯学習奨励員のマンパワーを生かしながら活動ができると楽しくなるのではないかと思います。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-5

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課（館）
	⑨ 高齢者社会に対応した生涯学習の充実
	中央公民館
活動内容	公民館サークル活動等の学習成果を生かす場の拡充や、高齢者の豊かな体験・知識・技術・特技を生かす場を充実させるため、子どもとの世代間交流も行う。 今年度実績：老壮大学 全7回学生129人（前年度全9回139人）中央公民館 全地区公民館（11館）でも高齢者学級を実施 新春書初め交流会 18人（同34人）中央公民館 〃 33人（同32人）比内公民館 〃 3人（同0人）田代公民館
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 中央公民館をはじめ各地区公民館で高齢者学級の育成・強化に力を入れ、公民館祭や地区文化祭などを活動の成果を発表する場としているが、今年度はコロナ禍によりほとんどが縮小開催となった。 中央公民館の書初め交流会などは、かろうじて今年度も老壮大学の書道クラブが小学生の指導にあたって世代間交流を行うことができたが、各公民館では各種事業の中止などにより、高齢者の団体やサークルが活躍する機会が失われる結果となった。
課題等	超高齢化社会に向かって、益々高齢者が増加する現状とは対照的に、高齢者事業の参加者は毎年減少している。昨年度横ばいであった老壮大学入学者は、今年度も減少に転じた。近年は60歳を過ぎても就労している方が多いことも理由ではあるが、健康寿命の向上や生き生きとした生活を過ごすための魅力ある講座も提供が必要となる。また、中高年勤労者を対象とした新規事業も必要と感じる。
学識経験者等の意見	高齢者学級については、参加者が楽しいと思える感覚を抱ける内容になるよう、引き続き取り組んでほしい。高齢者学級を通じて友達の輪が形成されることが大事だと思う。また、各地域にある高齢者福祉・保健を担う団体と連携しながら高齢者の学習の場の裾野を広げていってほしい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	⑩ 大館版「リカレント教育」プログラムの構築
	生涯学習課
活動内容	人生100年時代に対応して、学び直しに向けた環境作りを推進する。（地方創生推進交付金対象事業） 令和2年度から4年度までの3年間事業（毎年申請） ①リカレントポータルサイト構築のための仕様書作成、②大館教育のブランド化・産業化の提案、③事業推進のための環境整備の推進
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 地方創生推進交付金事業として採択され、10月にプロポーザル形式により受託業者を決定し契約締結した。 市民や企業等へアンケート調査を実施し、市民や企業が望んでいる講座の方向性を探った。 3月26日に業者から上記①②についての提案が提出された。また、環境整備のための拠点施設の整備、講座開設に必要な機材の納品は完了した。
課題等	今年度提出された仕様書等により、ポータルサイトプログラムの制作等を発注し、10月のポータルサイトの仮稼働の実現を目指すため、受託者の決定を迅速に行い、市民が求めるリカレント教育の講座や大館教育について情報発信し、ブランド化（他との識別化）を進めると共に産業化への道筋を構築したい。
学識経験者等の意見	社会人の学び直しは人生100年時代には必要で、壮大で素晴らしい計画だと思う。「大館学び大学」が市内3つ目の大学として認知されていくよう頑張っていたきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3 - 3

推進目標																																	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援																																
重点施策																																	
3	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する</td> <td style="width: 20%;">担当課（館）</td> </tr> <tr> <td>① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施</td> <td>中央公民館</td> </tr> <tr> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">活動内容</td> <td>高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議 HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われ、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。 今年度実績：活動回数 延べ10回88人（前年度17回150人）</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 「HACHI」では10人の新メンバーが加入、参加校は鳳鳴と国情の2校であった。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、大きなイベントである「ハチウィン」は中止となったが、「おおだて巡り」では市内施設をめぐり、市の出前講座「大館市のまつり」について勉強し、大館市への理解を深めた。生涯学習フェスティバルでは「児童との交流コーナー」を企画運営した。また、話し合いを重ね、新型コロナウイルス感染症対策として収容人数の制限や消毒などを行いながら楽しめる内容をメンバー自身が考え、200人程の集客に成功した。 </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> 「HACHI」は新規メンバーの参加により22人となったが、主体の3年生が卒業し、現在は2校12人となった。来年度以降の活動に支障が無いかが危惧される。また、コロナ禍によりできなかった大学との連携を、行事スタッフのボランティア派遣などをお願いしながら、地域の事業への参加を再度呼び掛けていく。 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td> 「HACHI」が発足してから数年が経ち、この間多くの高校生が参加し、故郷大館に対する愛着が醸成されたと思う。また、「HACHI」OBの中で、これから社会人になって戻ってくる方もいると思うので、そういった人たちと接点を持ち、交流することを通じて意見を集約することが今後の活動を進めていくうえで大いに参考になるのではないかと思う。 </td> </tr> </table> </td> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">取組の方向性</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">活動内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">取組の方向性</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> </table>	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する	担当課（館）	① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施	中央公民館	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">活動内容</td> <td>高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議 HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われ、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。 今年度実績：活動回数 延べ10回88人（前年度17回150人）</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 「HACHI」では10人の新メンバーが加入、参加校は鳳鳴と国情の2校であった。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、大きなイベントである「ハチウィン」は中止となったが、「おおだて巡り」では市内施設をめぐり、市の出前講座「大館市のまつり」について勉強し、大館市への理解を深めた。生涯学習フェスティバルでは「児童との交流コーナー」を企画運営した。また、話し合いを重ね、新型コロナウイルス感染症対策として収容人数の制限や消毒などを行いながら楽しめる内容をメンバー自身が考え、200人程の集客に成功した。 </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> 「HACHI」は新規メンバーの参加により22人となったが、主体の3年生が卒業し、現在は2校12人となった。来年度以降の活動に支障が無いかが危惧される。また、コロナ禍によりできなかった大学との連携を、行事スタッフのボランティア派遣などをお願いしながら、地域の事業への参加を再度呼び掛けていく。 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td> 「HACHI」が発足してから数年が経ち、この間多くの高校生が参加し、故郷大館に対する愛着が醸成されたと思う。また、「HACHI」OBの中で、これから社会人になって戻ってくる方もいると思うので、そういった人たちと接点を持ち、交流することを通じて意見を集約することが今後の活動を進めていくうえで大いに参考になるのではないかと思う。 </td> </tr> </table>	活動内容	高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議 HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われ、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。 今年度実績：活動回数 延べ10回88人（前年度17回150人）	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 「HACHI」では10人の新メンバーが加入、参加校は鳳鳴と国情の2校であった。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、大きなイベントである「ハチウィン」は中止となったが、「おおだて巡り」では市内施設をめぐり、市の出前講座「大館市のまつり」について勉強し、大館市への理解を深めた。生涯学習フェスティバルでは「児童との交流コーナー」を企画運営した。また、話し合いを重ね、新型コロナウイルス感染症対策として収容人数の制限や消毒などを行いながら楽しめる内容をメンバー自身が考え、200人程の集客に成功した。	課題等	「HACHI」は新規メンバーの参加により22人となったが、主体の3年生が卒業し、現在は2校12人となった。来年度以降の活動に支障が無いかが危惧される。また、コロナ禍によりできなかった大学との連携を、行事スタッフのボランティア派遣などをお願いしながら、地域の事業への参加を再度呼び掛けていく。	学識経験者等の意見	「HACHI」が発足してから数年が経ち、この間多くの高校生が参加し、故郷大館に対する愛着が醸成されたと思う。また、「HACHI」OBの中で、これから社会人になって戻ってくる方もいると思うので、そういった人たちと接点を持ち、交流することを通じて意見を集約することが今後の活動を進めていくうえで大いに参考になるのではないかと思う。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">取組の方向性</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> <td></td> </tr> </table>	取組の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">活動内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">取組の方向性</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td></td> </tr> </table>	活動内容		点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）	課題等	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">取組の方向性</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> <td></td> </tr> </table>	取組の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度		学識経験者等の意見		
高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する	担当課（館）																																
① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施	中央公民館																																
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">活動内容</td> <td>高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議 HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われ、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。 今年度実績：活動回数 延べ10回88人（前年度17回150人）</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 「HACHI」では10人の新メンバーが加入、参加校は鳳鳴と国情の2校であった。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、大きなイベントである「ハチウィン」は中止となったが、「おおだて巡り」では市内施設をめぐり、市の出前講座「大館市のまつり」について勉強し、大館市への理解を深めた。生涯学習フェスティバルでは「児童との交流コーナー」を企画運営した。また、話し合いを重ね、新型コロナウイルス感染症対策として収容人数の制限や消毒などを行いながら楽しめる内容をメンバー自身が考え、200人程の集客に成功した。 </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> 「HACHI」は新規メンバーの参加により22人となったが、主体の3年生が卒業し、現在は2校12人となった。来年度以降の活動に支障が無いかが危惧される。また、コロナ禍によりできなかった大学との連携を、行事スタッフのボランティア派遣などをお願いしながら、地域の事業への参加を再度呼び掛けていく。 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td> 「HACHI」が発足してから数年が経ち、この間多くの高校生が参加し、故郷大館に対する愛着が醸成されたと思う。また、「HACHI」OBの中で、これから社会人になって戻ってくる方もいると思うので、そういった人たちと接点を持ち、交流することを通じて意見を集約することが今後の活動を進めていくうえで大いに参考になるのではないかと思う。 </td> </tr> </table>	活動内容	高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議 HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われ、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。 今年度実績：活動回数 延べ10回88人（前年度17回150人）	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 「HACHI」では10人の新メンバーが加入、参加校は鳳鳴と国情の2校であった。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、大きなイベントである「ハチウィン」は中止となったが、「おおだて巡り」では市内施設をめぐり、市の出前講座「大館市のまつり」について勉強し、大館市への理解を深めた。生涯学習フェスティバルでは「児童との交流コーナー」を企画運営した。また、話し合いを重ね、新型コロナウイルス感染症対策として収容人数の制限や消毒などを行いながら楽しめる内容をメンバー自身が考え、200人程の集客に成功した。	課題等	「HACHI」は新規メンバーの参加により22人となったが、主体の3年生が卒業し、現在は2校12人となった。来年度以降の活動に支障が無いかが危惧される。また、コロナ禍によりできなかった大学との連携を、行事スタッフのボランティア派遣などをお願いしながら、地域の事業への参加を再度呼び掛けていく。	学識経験者等の意見	「HACHI」が発足してから数年が経ち、この間多くの高校生が参加し、故郷大館に対する愛着が醸成されたと思う。また、「HACHI」OBの中で、これから社会人になって戻ってくる方もいると思うので、そういった人たちと接点を持ち、交流することを通じて意見を集約することが今後の活動を進めていくうえで大いに参考になるのではないかと思う。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">取組の方向性</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> <td></td> </tr> </table>	取組の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度																					
活動内容	高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議 HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われ、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。 今年度実績：活動回数 延べ10回88人（前年度17回150人）																																
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 「HACHI」では10人の新メンバーが加入、参加校は鳳鳴と国情の2校であった。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、大きなイベントである「ハチウィン」は中止となったが、「おおだて巡り」では市内施設をめぐり、市の出前講座「大館市のまつり」について勉強し、大館市への理解を深めた。生涯学習フェスティバルでは「児童との交流コーナー」を企画運営した。また、話し合いを重ね、新型コロナウイルス感染症対策として収容人数の制限や消毒などを行いながら楽しめる内容をメンバー自身が考え、200人程の集客に成功した。																																
課題等	「HACHI」は新規メンバーの参加により22人となったが、主体の3年生が卒業し、現在は2校12人となった。来年度以降の活動に支障が無いかが危惧される。また、コロナ禍によりできなかった大学との連携を、行事スタッフのボランティア派遣などをお願いしながら、地域の事業への参加を再度呼び掛けていく。																																
学識経験者等の意見	「HACHI」が発足してから数年が経ち、この間多くの高校生が参加し、故郷大館に対する愛着が醸成されたと思う。また、「HACHI」OBの中で、これから社会人になって戻ってくる方もいると思うので、そういった人たちと接点を持ち、交流することを通じて意見を集約することが今後の活動を進めていくうえで大いに参考になるのではないかと思う。																																
取組の方向性																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度																																	
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">活動内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">取組の方向性</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td></td> </tr> </table>	活動内容		点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）	課題等	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">取組の方向性</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> <td></td> </tr> </table>	取組の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度		学識経験者等の意見																						
活動内容																																	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）																																
課題等	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">取組の方向性</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> <td></td> </tr> </table>	取組の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度																													
取組の方向性																																	
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度																																	
学識経験者等の意見																																	

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課（館）
	生涯学習課
	① 「生涯学習フェスティバル」の実施
活動内容	社会教育施設・各種機関・団体等に協賛・参加を呼びかけ、生涯学習に関する実践活動の発表の場や理解する機会を提供し、市民一人一人の生涯学習への意欲を高める。さらに、木育を中心とした事業を開催する。 メイン開催日の中央公民館会場では、2年目となる木育キャラバンも予定しており、来場者数2,500人を目標とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 9月、10月を生涯学習推進月間として、栗盛記念図書館や北地区コミュニティセンターなど、各機関・団体等による協賛イベントが開催された。（延べ参加・入場者数5,858人）中央公民館会場では、新型コロナウイルス感染症対策として体験型ブースや食堂開設を控え、9月26日（土）、27日（日）の2日間に渡り、中央公民館サークル協議会や大館桂桜高等学校、大館市発明協会、教育研究所等による作品展示を主体として鑑賞イベントを開催し、生涯学習の実践活動発表の機会とした。（来館者数：26日803人、27日1,197人、計2,000人）
課題等	新型コロナウイルス感染者数が比較的落ち着きを見せた時期だったため、9月26日（土）、27日（日）に開催することができたが、それでも一部協賛事業は中止としている。また、当初同時開催を予定した「木育キャラバン」は1月16日（土）、17日（日）に時期をずらして開催した。今後の状況にもよるが可能な限り事業内容等を検討して開催していきたい。
学識経験者等の意見	展示型の開催だとしても、作品を自由に自分のペースで見ることができるので開催したことは良かった。 発表の場として自分の製作品を展示することは、生涯学習のきっかけや励みになると思う。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 「大学公開講座」の実施
	生涯学習課
活動内容	市民の多様化・高度化した学習要望に応えるため、地域の高等教育機関と連携し公開講座を年2回開催する。講座内容については、大学の特色を生かしたテーマを設定し、時事に即した内容の講義を行う。 実施校：秋田看護福祉大学、秋田職業能力開発短期大学校
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 秋田看護福祉大学の「大学公開講座」は、例年7月上旬開催としていたため、医療系大学の施設であることも考慮し新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として中止した。 また、秋田職業能力開発短期大学校の協力のもと、10月2日（月）に第3回「大学校公開市民講座2020」を開催し、同大学教授からスマートフォンやインターネット等の身近な通信技術について講義があった。（受講者数18名）
課題等	秋田看護福祉大学の「大学公開講座」については、感染対策を講じたうえで開催していきたい。 秋田職業能力開発短期大学校の「大学校公開講座」は、当初、3日間を別テーマで開催する予定でしたが、申込者が少なく中止を判断した。次回はアンケート等を参考に市民のニーズに沿ったテーマについて大学校と一緒に検討していきたい。
学識経験者等の意見	今後、リカレント教育事業へつながる事業だと思っているので、整理・統合を進めてほしい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-4-2

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課（館）
	生涯学習課
	③ 地域活動団体への支援
活動内容	大館市連合婦人会等、地域活動団体への補助・活動支援を行うことにより、地域活動の活性化を図る。 市補助金：大館市連合婦人会 248千円 Odate Marching Band TEDAOLE 200千円 おおだてロボット人材育成コンソーシアム 100千円
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 本市の予算の範囲内で申請のあったすべての団体に交付できた。各団体とも会員の確保に努め、活動内容を工夫しながら、衰退しないように努力している。
課題等	本市予算の範囲内で補助金を交付し、情報交換しながら活動を支援し続けている。おおだてロボット人材育成コンソーシアムについては、活動内容の見直しもあり、来年度の補助金は5万円の減少となった。地域活動団体については、メンバーの高齢化等による会員減少が著しくなっている団体もあり、若年層の団体加入による若返り化が課題となっている。
学識経験者等の意見	おおだてロボット人材育成コンソーシアムについては、子どもたちが楽しみながらできる活動にしていくと良いと思う。補助金は活動を支えるものなので、継続していただきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	④ 地区住民や関係団体との連携強化
	中央公民館
活動内容	地域コミュニティ活動を支えるため、関係団体・関係機関と情報交換を行い、さまざまな角度から支援を行う。また、その活動の様子を関係団体等に紹介することで連携を強化する。特に東日本大震災以降は避難所としての機能の強化がより一層期待され、地区住民との連携強化が不可欠であるため、より良い協力関係を築いていく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 地区公民館では、運動会やスポーツ大会、文化祭などの行事を、地元町内会や婦人会などと協力して行っているほか、他事業にも地域の団体の意見を反映させている。また、消防署や警察署、危機管理課の出前講座を活用した防災、防犯講座に地域ぐるみで取り組むなどして、関係機関とも連携を図っている。今年度は、特にコロナ禍による事業の開催可否の検討などもあり意見調整に努めた。 今後、災害時にはコロナ対策を考慮した対応が必要となるため、公民館職員を対象として避難所開設訓練を3回にわたり実施した。今後、各地区において住民自治会などとの研修会につなげることとなるが、すでに二井田地区においては、町内会長連絡協議会との合同訓練が実施された。
課題等	公民館は、地域コミュニティの拠点であり、地域活動の支援はもちろんのこと、災害時の避難所として位置付けられている。少ない職員数で避難所として機能するためには、地域住民との連携は欠くことができない。定期的に防災・避難訓練や災害を想定した事業を実施し、より良い協力関係を築くよう努力していきたい。
学識経験者等の意見	有事を想定して地区住民や地域団体と防災・避難訓練を実施することは重要。その際に、地域交流の拠点であるとの視点も大事にしながら、参加者が楽しいと感じられる手法で実施したらどうか。合わせて常日頃から、地域住民が気軽に立ち寄れる、遊び感覚を抱くことが出来る公民館づくりをしてほしい。そのことが、有事の際も大きな力を発揮できると思う。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-4-3

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課（館）
	⑤ 地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化
	中央公民館
活動内容	地域のコミュニティ活動の拠点として、地区公民館の改築は一巡した。今後は分館等整備の進んでいない施設への環境整備を進めていく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 地区公民館の改築は一巡したが、今後の維持管理で大規模修繕や改修が必要となる施設もある。また、ほとんどの地区公民館分館は老朽化しており、必要不可欠なもの修繕で対応しているが、地元の見解・要望を聞きながら、計画的に整備を進めていきたい。今年度は矢立公民館大会議室エアコン更新、花岡公民館の廊下床張替え、岩野目、山田分館のタタミ表替えなどを行なったほか、ストーブ、プロジェクタースクリーン、AEDなど備品の更新により側面からの支援も行った。
課題等	地区公民館分館は15施設あるが、老朽施設が多く、計画的な整備にしても長期にわたりその間に突発的な修繕が多々発生する。また、建物以外でも、ストーブやエアコンの老朽化が進み故障の都度修繕で対応しているが計画的に更新する必要がある。地区住民の生涯学習の拠点として機能するために予算確保の努力を継続する。
学識経験者等の意見	限りある財源のなかで、公民館施設の改修・修繕を進めていくことは容易ではないが、優先順位を決めて進めていってほしい。また、今後、人口減が予想される中で、統合や集約等施設の在り方についても地域住民の見解を聞きながら議論を開始していってほしい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	⑥ 公民館事業の充実と参加促進
	中央公民館
活動内容	公民館の各種事業の内容を充実させ、魅力ある講座を開催する。さらに参加者の動向を見ながらレベルアップを図ることで、活発な公民館活動を展開する。また、既存の事業で参加者の少ない事業でも楽しみに来ている高齢者がいるため、存続できるようにしていきたい。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 各事業の実施後、参加者から事業内容に関する意見や要望など、アンケートを取り集約している。地区公民館では、町内会や関係団体との会合等で常に意見要望を出してもらい今後の事業に反映するように努めている。 今年度、コロナ禍による事業縮小など制約を受けながらも、地区公民館では、地区歴史研究会企画展（釈迦内）、館長のちょぺっと活かした講座（長木）、地区支え合い研修会（二井田）、3館交流歴史講演会（十二所）、歴史展示室整備事業（矢立）などの新規及びリニューアル事業を実施した。
課題等	少子高齢化や60歳以上の勤労者増加などの社会状況の変化に対応し、地域住民のニーズを把握しながら事業の見直し・改善を進める。また、必要に応じ、NPO団体や県・市の出前講座、企業のCRS活動（社会貢献）の活用や、他自治体の事例を参考にしながら事業を充実させる。また、地区公民館では、各地区の歴史や風土などの学習素材を取り入れた特色ある事業の掘り起こしを進める必要がある。
学識経験者等の意見	複数公民館共同による事業の実施を今まで以上に進めていってほしい。参加者増、内容の充実及び費用の節約並びに 地域を超えた新たな人間関係の形成という点からも効果があるように思われる。また、高齢者が多いなら福祉事業との連携等も考えてはどうか。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-4-4

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課（館）
	生涯学習課
⑦ 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施	
活動内容	放課後児童を対象として、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供する。さらに、土曜日等の支援として体験活動や学習機会を提供する。 毎月1回の定例会を実施する。 各施設の横のつながりを図るため、クラブ対抗の大会（ドッジボール、カルタ）を開催する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、年度当初に各児童クラブにおいて行事やイベントの開催を自粛する傾向がみられたものの、徐々に感染症対策に留意しながらの開催が増加し、放課後児童に対し体験活動を提供することができた。また、小学校休校期間中には規模縮小をしながらも開所時間を延長し、児童の居場所作りを行った。直営全体でのドッジボール大会については、感染症対策として短縮日程で実施したが、保護者より好評を得ることができた。カルタ大会については、密を避ける事が難しいとの考えから、各クラブ代表者を集めての本選実施は叶わず、各クラブ内における実施となった。毎月1回の定例会については、感染症対策のため研修会は1回のみとなったが、毎年支援員より好評を頂いている外部講師を招き実施することができた。
課題等	支援員が公休や有休をとる際の代替職員（PP・プレイングパートナー）不足が課題となっている。来年度より代替職員の雇用形態を会計年度任用職員に変更する事で処遇が改善されるため、それを足掛かりに必要な数の確保に努めていきたい。
学識経験者等の意見	ありがたい活動だと感じる。子どもに係る事業は大事にしてほしい。手間や費用がかかるが、根気よく継続していただきたい。 子どもの素の部分、ありのままを受け止めて、難儀だらうけれども頑張ってサポートをお願いしたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
⑧ 「大館ふるさとカルタ」の普及とカルタ大会の開催	
	生涯学習課
活動内容	カルタを普及させるとともに、カルタ大会を開催することにより、カルタの読み札や絵札を通して、ふるさとの歴史を学び、郷土愛を育む機会を作る。カルタ大会の運営に高校生ボランティア（目標5人）を募り、審判・読み手の育成も図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 昨年度は市内直営の放課後児童クラブ9施設でそれぞれカルタ大会の予選を行い、代表者73名が中央公民館で『児童仲良しクラブ対抗カルタ大会』に参加した。 今年度の大会は三密を避けるためにクラブごとの開催とし、開催の有無は各クラブの判断に委ねる形をとった。開催したクラブは5施設で参加者は計88名と昨年度の予選参加人数より少ないと思われるが、大会終了後においても、放課後児童クラブでは児童が大館ふるさとカルタで遊ぶ姿が見られ、普及の一助を担えたものと考えている。
課題等	放課後児童クラブ登録児童を対象としたカルタ大会を今後も継続して開催していくと共に、大館ふるさとカルタ普及に向けた新たな取り組みを見出したい。
学識経験者等の意見	引き継がれる、つながる活動で良いと思う。大館ふるさとカルタが認知され、市民にも広がっていく活動になるとありがたいと思う。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-4-5

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課（館）	
	⑨ 木育事業の実施	生涯学習課	
	活動内容	定期的な木育事業を実施することにより、乳幼児から高齢者までの世代間交流の機会創出につなげる。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）	
		令和2年度の新たな取組として移動型木育ひろば「Let's Go! 木育ひろば」を保育園、小学校、支援学校など8カ所で計10回実施し、幼児から高齢者まで延べ771名が木のおもちゃに触れながら楽しい時間を過ごした。 また、2回目となった移動型おもちゃ美術館「木育キャラバン」は、新型コロナウイルス感染症の影響から東京おもちゃ美術館とのやりとりをオンラインで行い新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施した。2日間で延べ468名の来場があり、多くの子育て中の親子が全国各地の選りすぐりの木のおもちゃと出会い、木の感触や香りを感じながら楽しい時間を過ごし、自然環境の保全や木材の良さを学ぶことができた。	
	課題等	より多くの市民に木に触れる機会創出のため、木育イベントやワークショップを開催し木の良さや自然環境の保全を周知していく。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
	学識経験者等の意見	とても良い事業だと思う。デジタル化の流れの中で、人間的な温もり、ふれあいや遊びなどアナログ的な価値も大切にしてほしい。今後も充実した事業展開を拡大していただきたい。	
			生涯学習課
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）	
課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度		
学識経験者等の意見			

重点施策点検・評価表

3 - 5

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める
	担当課（館）
	生涯学習課
	① 図書館運営に関する進行管理
活動内容	指定管理制度による図書館運営について、指定管理者の提案書に基づく適正な運営に対する必要な支援と指導を行い、図書館サービスの向上を図り「生涯読書」活動を推進する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 大館市図書館協議会からの提言に沿いながら指定管理者との協議を行い、図書館利用者へのサービス向上を図りながら「生涯読書」活動を推進している。 恒例となっている読み聞かせ会の開催や図書館ボランティアの育成、夜の図書館開放など、多様なイベントを通じて来館者が親しみやすい図書館となることにより、利用者の増加を図っている。また、防犯カメラ映像のモニター監視による館内セキュリティの確保や、入館者数カウンター（センサー）による来館者の把握、空気清浄機や書籍殺菌機の導入など、館内環境維持に努めている。 新型コロナウイルス感染症の影響により4～5月に17日間閉館したが、閉館前に貸出冊数を増やした結果、閉館により利用者数は減少したものの貸出冊数は増加した。また館内では席数を制限するなど、感染防止対策に努めながら利用者へのサービスに努めた。
課題等	少子高齢、人口減少等の社会情勢の変化を踏まえながら、利用者サービスや各種事業の実施、情報発信を充実させ、さらに魅力ある市民に親しまれる図書館運営ができるよう、指定管理者と十分協議しながら支援していく。
学識経験者等の意見	図書館の総合的事業として学校図書とも関わりを持って展開しているのが分かった。コロナ禍、人口減少や読書習慣など事業展開では悩みや難しいこともあると思うが、継続していただきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）
課題等	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

3-6-1

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する	担当課（館）
	① 芸術文化団体への支援	生涯学習課
	活動内容	大館市芸術文化連盟や比内芸術文化協会、田代地区芸術文化協会等、芸術文化団体に対し補助を行うことにより、地域の伝統文化や伝統芸能の活動を支援する。 市補助金：大館市芸術文化連盟 410千円 比内芸術文化協会 110千円 田代地区芸術文化協会 110千円
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 本市予算の範囲内で補助金交付を行っている。 令和2年度は各団体とも補助金額が数千円減少となったが、各団体とも補助金を有効に活用しながら活動内容を工夫し運営に努めている。
	課題等	高齢化による会員の減少という共通の課題はあるが、各団体とも地域の伝統文化・芸能の保存・承継に積極的に取り組んでおり、今後も衰退しないように支援を継続していく。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	人口減少により、芸術文化の継承は厳しい問題であるが、記録関係だけはきちんと取り、保存したら良いと思う。今後、外から入ってくる人の中に、興味を持つ人や研究サークル等が現れるかもしれない。そのあたりを念頭に整理しながら、拡大していく動き、いつか化けるかもしれないことを期待する方向性もある。いずれにしろ難しい問題だとは思う。
	② 芸術文化に関する事業の積極的な周知・活用	生涯学習課
	活動内容	文化庁などが所管する各種事業等を関係団体や文化施設・学校等に積極的に周知、活用を図ることにより、地域における芸術文化体験の機会を提供する。 市内小中学校（全25校）へ周知し、巡回公演4校以上で実施を目指す。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 市内芸術文化連盟・協会等に対する秋田県芸術文化振興基金やニッセイ財団等による助成事業の周知のほか、小中学校には子どもたちが質の高い芸術活動を身近に感じられる機会として文化庁「文化芸術による子どもの育成事業」巡回公演等の周知や取りまとめを行った。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で2校のみの実施となり、令和3年度は1校が申請している。さらに、3年連続での開催となった文化庁補助の令和2年度伝統文化親子教室事業（地域展開型）「大館市伝統文化親子教室事業～遊びと、体験と、鑑賞会～」は大変好評であった。
	課題等	「あきた子どもの文化体験促進事業」や「秋田県青少年劇場」など、学校等が活用しやすい事業について、民間・行政を問わず情報提供に努めていく。文化庁補助事業は、4年目として関係団体と連携しながら実施予定。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	子どもが本物を見る、本物に触れる機会はとても大事なので今後も継続し、各校へお知らせしていただきたい。	

重点施策点検・評価表

3-6-2

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する
	担当課（館）
	生涯学習課
	③ 郷土芸能保存協会等との協働
活動内容	子どもから大人まで参加できる「大館市伝統文化親子教室～遊びと、体験と、鑑賞会～」を開催し、郷土芸能の発表と体験の場を構築する。また、教職員を対象とし郷土芸能体験の場を設ける。 午前の部 体験（木育・手作りおもちゃ大会作品展示、秋田犬絵画展含む） 午後の部 鑑賞会 全体の来場者目標240人 「教員のための郷土芸能体験」 参加者目標20人
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 昨年に引き続き文化庁より事業を受託し、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら12月5日に「大館市伝統文化親子教室～遊びと、体験と、鑑賞会～」、1月8日に「教職員のための大館曲げわっぱ太鼓体験」を開催した。午前の部体験には47名が参加、午後の部鑑賞会では360名が鑑賞した。木育手作りおもちゃ大会には16点、秋田犬絵画展には40点が出品された。出演者や講師等を含めた参加総数は540名となり、コロナ禍で様々なイベントが中止となるなか、開催を歓迎する声が多く好評を博した。教員体験は19人が参加し、大館曲げわっぱ太鼓への理解を深めた。
課題等	各地区に残る郷土芸能を存続させるためには、学校との連携は欠かせないものになりつつある。各地区と郷土芸能の歴史を学び、郷土への愛着を育むことが必要であるとともに、親世代が郷土芸能に触れる機会創出を考える必要がある。
学識経験者等の意見	伝統を重んじるものと最新のものをミックスした活動であったことで、幅広い年齢層の方々が共に活動できることは今必要なことで、ありがたい活動だと思う。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）
課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	